

伊藤 幸男

長野市立長野・皐月高等学校 教諭

地域づくり人の養成

研究理念は「暮らしやすい地域づくり」である。地域づくりには企業の活躍と理解が必要である。企業の力を地域へ効果的に活かすことがCSRの一つと考えた時、地方企業はCSRという言葉に踊らされている現状があると仮説をたててみた。そこで、CSRによって暮らしやすい地域を作り上げることができ、これをモデルとして、地域づくりにおける地域企業の役割を提示することで、仮説について検証することができる。

そこで、地域福祉の現場の実態や退職後地域デビューを果たした経験者の声を聞くなどの調査を実施し、その結果に基づいた退職者支援プログラムの研究開発は、地域が求めるものとなり、それを実施することが地域福祉の向上と豊かな活力ある長寿社会の構築を目指すものである。これを地域企業と地域福祉の現場と退職者が膝を交えて考え実現に向かう（協働する）ことが本研究の目的でもある。研究の目的は、1. 福祉の現場が求める人材像を把握する（福祉現場のニーズ調査）2. 退職者が生きがいをもって地域で退職後の生活を踏みだせるように、退職前の退職者支援内容を研究開発する（退職予定者と退職者と地域デビューした退職者ニーズ調査）3. 退職者を生み出す企業が提供している退職者支援プログラムの有無やその内容を把握し、企業へ提言・実施する（企業調査）